

## 運用報告書 (全体版)

### 高金利通貨ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	高金利通貨ファンド	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
運用方法	主としてグローバル高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、国際機関債や政府機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債に実質的に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。公社債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	高金利通貨ファンドのグローバル高金利通貨マザーファンド組入上限比率	制限なし。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の金額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第161期	<決算日	2021年10月8日>
第162期	<決算日	2021年11月8日>
第163期	<決算日	2021年12月8日>
第164期	<決算日	2022年1月11日>
第165期	<決算日	2022年2月8日>
第166期	<決算日	2022年3月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利通貨ファンド」は、2022年3月8日に第166期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# 高金利通貨ファンド

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基 準 額 (分配落)	準 価 額			債券組入率	債券先物率	純 資 産 額
			税 込 配 金	期 騰 落	中 率			
第24作成期	137期(2019年10月8日)	円 4,125	円 20	% 0.6	% 94.6	% -	百万円 4,710	
	138期(2019年11月8日)	4,303	20	4.8	95.3	-	4,869	
	139期(2019年12月9日)	4,251	20	△0.7	95.2	-	4,783	
	140期(2020年1月8日)	4,248	20	0.4	95.4	-	4,738	
	141期(2020年2月10日)	4,262	20	0.8	95.3	-	4,586	
	142期(2020年3月9日)	3,774	20	△11.0	95.7	-	4,022	
第25作成期	143期(2020年4月8日)	3,590	20	△4.3	94.8	-	3,797	
	144期(2020年5月8日)	3,520	20	△1.4	94.6	-	3,708	
	145期(2020年6月8日)	3,935	20	12.4	94.6	-	4,123	
	146期(2020年7月8日)	3,734	20	△4.6	94.1	-	3,892	
	147期(2020年8月11日)	3,639	20	△2.0	92.7	-	3,735	
	148期(2020年9月8日)	3,691	20	2.0	94.3	-	3,766	
第26作成期	149期(2020年10月8日)	3,621	20	△1.4	95.8	-	3,671	
	150期(2020年11月9日)	3,605	20	0.1	95.7	-	3,613	
	151期(2020年12月8日)	3,724	20	3.9	95.5	-	3,699	
	152期(2021年1月8日)	3,714	20	0.3	95.4	-	3,647	
	153期(2021年2月8日)	3,787	20	2.5	95.8	-	3,686	
	154期(2021年3月8日)	3,726	20	△1.1	95.7	-	3,599	
第27作成期	155期(2021年4月8日)	3,715	20	0.2	96.0	-	3,516	
	156期(2021年5月10日)	3,792	20	2.6	96.7	-	3,566	
	157期(2021年6月8日)	3,841	20	1.8	96.3	-	3,563	
	158期(2021年7月8日)	3,757	20	△1.7	95.3	-	3,470	
	159期(2021年8月10日)	3,740	20	0.1	95.2	-	3,419	
	160期(2021年9月8日)	3,791	20	1.9	95.9	-	3,444	
第28作成期	161期(2021年10月8日)	3,686	20	△2.2	95.8	-	3,330	
	162期(2021年11月8日)	3,698	20	0.9	96.2	-	3,319	
	163期(2021年12月8日)	3,495	20	△4.9	94.9	-	3,119	
	164期(2022年1月11日)	3,538	20	1.8	94.6	-	3,145	
	165期(2022年2月8日)	3,577	20	1.7	95.7	-	3,150	
	166期(2022年3月8日)	3,381	20	△4.9	97.1	-	2,947	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	率		
第161期	(期首) 2021年9月8日	円 3,791	% -	% 95.9	% -
	9 月 末	3,721	△1.8	95.7	-
	(期末) 2021年10月8日	3,706	△2.2	95.8	-
第162期	(期首) 2021年10月8日	3,686	-	95.8	-
	10 月 末	3,730	1.2	95.6	-
	(期末) 2021年11月8日	3,718	0.9	96.2	-
第163期	(期首) 2021年11月8日	3,698	-	96.2	-
	11 月 末	3,500	△5.4	95.3	-
	(期末) 2021年12月8日	3,515	△4.9	94.9	-
第164期	(期首) 2021年12月8日	3,495	-	94.9	-
	12 月 末	3,569	2.1	94.9	-
	(期末) 2022年1月11日	3,558	1.8	94.6	-
第165期	(期首) 2022年1月11日	3,538	-	94.6	-
	1 月 末	3,547	0.3	94.5	-
	(期末) 2022年2月8日	3,597	1.7	95.7	-
第166期	(期首) 2022年2月8日	3,577	-	95.7	-
	2 月 末	3,491	△2.4	96.5	-
	(期末) 2022年3月8日	3,401	△4.9	97.1	-

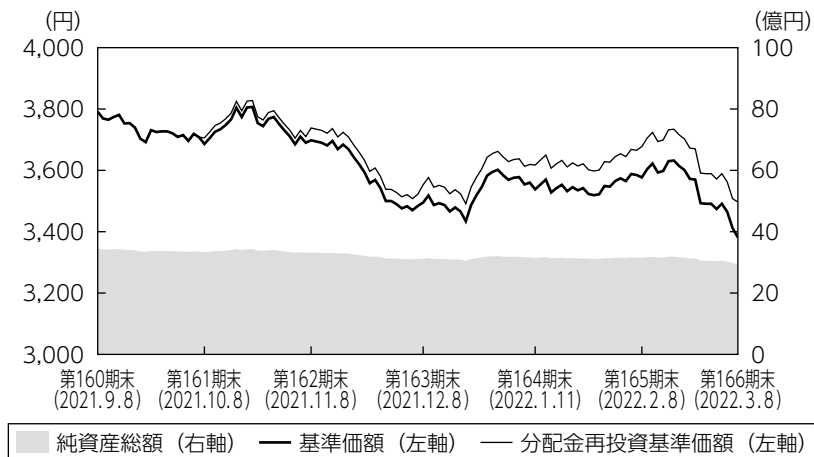
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■第161期～第166期の運用経過（2021年9月9日から2022年3月8日まで）

### 基準価額等の推移



第161期首： 3,791円  
第166期末： 3,381円  
(既払分配金120円)  
騰落率： △7.8%  
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

多くの組入国において、高まるインフレへの対応のため、政策金利の引き上げが実施され、国債利回りが上昇（価格は下落）したことや、その中でもインフレ実勢を無視した利下げを断行したトルコの通貨リラの大幅減価、ウクライナへの軍事侵攻を強行し、西側諸国からの制裁を受けたロシアの通貨ルーブルの大幅減価などが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

債券市場では、多くの投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの回復局面において強まった供給制約の問題から世界的な高インフレ環境が続いた中、多くの組入国で政策金利の引き上げが実施されたこと、また、作成期末にかけてはロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けて市場心理が圧迫されるとともに、産油国ロシアを中心とした事態の中、原油をはじめとした各種資源価格の大幅上昇から、更なるインフレ進行懸念が強まったことなどが要因となりました。

為替市場では、まちまちの動きとなりました。ウクライナへの軍事侵攻を強行し、西側諸国からの制裁を受けたロシアルーブル、高インフレ環境下で実勢を無視した利下げを断行したトルコリラは大幅に下落しました。また、ロシアやウクライナへの地理的な近接性が嫌気されたポーランドズロチも下落に見舞われました。一方、世界的な資源高となる中、主力産品価格の大幅上昇が好感されたブラジルレアルは上昇しました。（いずれも対円）

## ポートフォリオについて

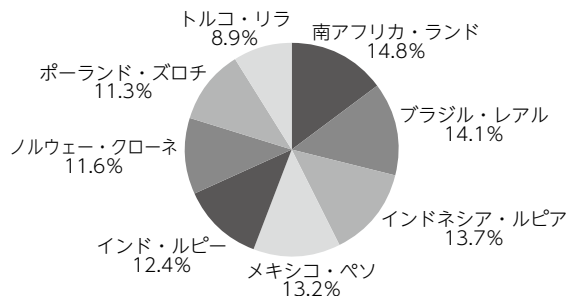
### ●当ファンド

当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドの組入比率を作成期を通じて高位に維持しました。

### ●グローバル高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用では、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等に鑑み比率の調整を行いました。当作成期においては、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、欧州地域でロシアを投資国から除外し、地域内各国の金利水準等に鑑み、ノルウェーを新たに組み入れました。

グローバル高金利通貨マザーファンドの債券通貨別構成比（当作成期末）



※比率は、組入債券全体に対する評価額の割合です。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2021年9月9日 ～2021年10月8日	2021年10月9日 ～2021年11月8日	2021年11月9日 ～2021年12月8日	2021年12月9日 ～2022年1月11日	2022年1月12日 ～2022年2月8日	2022年2月9日 ～2022年3月8日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.54%	0.54%	0.57%	0.56%	0.56%	0.59%
当期の収益	17円	19円	16円	20円	17円	20円
当期の収益以外	2円	0円	3円	-円	2円	-円
翌期繰越分配対象額	612円	612円	608円	609円	607円	611円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続き当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●グローバル高金利通貨マザーファンド

新興国債券・為替市場は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク選好の冷え込み、それに伴う資源価格の大幅上昇のほか、米国における金融正常化が進む状況下、より選別的な動きが強まるものと考えます。各国の金融政策姿勢、ファンダメンタルズや政治情勢その他、個別に抱える課題は異なることなどから、国ごとのパフォーマンスが異なる展開を想定しており、これに留意した投資国の選別や配分を行う方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第161期～第166期 (2021年9月9日 ～2022年3月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	20円	
(投信会社)	( 9)	(0.244)	
(販売会社)	(10)	(0.272)	
(受託会社)	( 1)	(0.026)	
(b) その他費用	0	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 0)	(0.006)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 0)	(0.000)	
合計	20	0.550	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

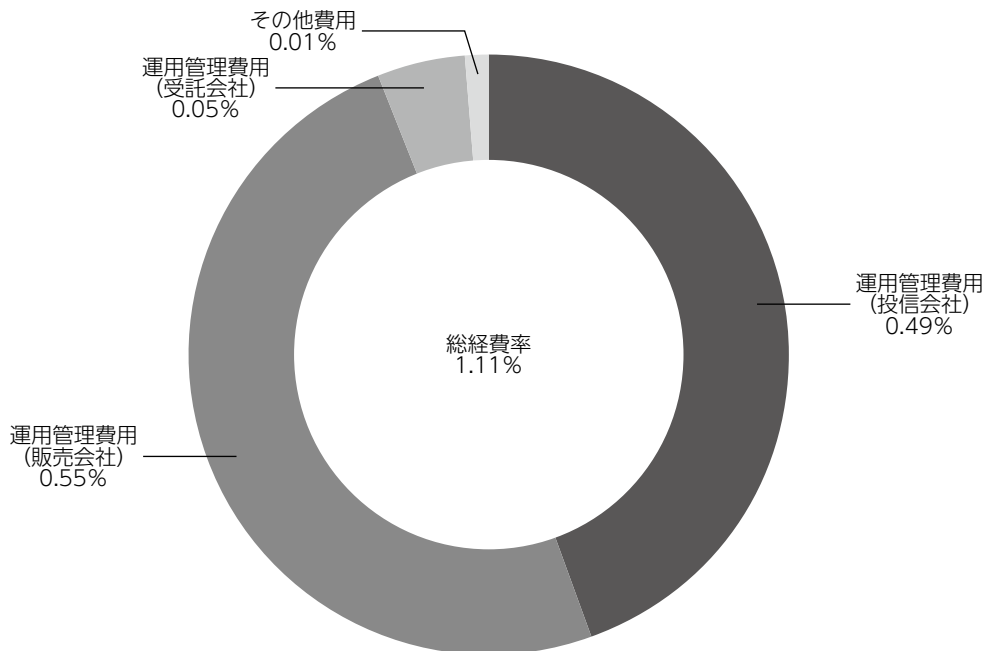
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年9月9日から2022年3月8日まで）

	第 161 期 ~ 第 166 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 228,132	千円 258,000

■利害関係人との取引状況等（2021年9月9日から2022年3月8日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第 27 作 成 期 末		第 28 作 成 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
グローバル高金利通貨マザーファンド	千□ 2,934,390	千円 2,933,583	千□ 2,706,257	千円 2,933,583

## ■投資信託財産の構成

2022年3月8日現在

項 目	第 28 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル高金利通貨マザーファンド	千円 2,933,583	% 98.6
コール・ローン等、その他	40,636	1.4
投資信託財産総額	2,974,220	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末のグローバル高金利通貨マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,944,027千円、99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年3月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=115.49円、1トルコ・リラ=8.026円、1ノルウェー・クローネ=12.76円、1メキシコ・ペソ=5.42円、1インド・ルピー=1.51円、100インドネシア・ルピア=0.80円、1ブラジル・レアル=22.649円、1南アフリカ・ランド=7.51円、1ポーランド・ズロチ=25.163円、1ユーロ=125.31円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年10月8日)、(2021年11月8日)、(2021年12月8日)、(2022年1月11日)、(2022年2月8日)、(2022年3月8日)現在

項 目	第 161 期 末	第 162 期 末	第 163 期 末	第 164 期 末	第 165 期 末	第 166 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>3,353,076,006円</b>	<b>3,343,091,115円</b>	<b>3,141,273,930円</b>	<b>3,169,146,384円</b>	<b>3,173,259,799円</b>	<b>2,974,220,058円</b>
コール・ローン等	29,811,878	28,534,817	18,663,088	19,148,024	53,606,410	16,636,428
グローバル高金利通貨マザーファンド(評価額)	3,323,264,128	3,314,556,298	3,090,610,842	3,106,998,360	3,108,653,389	2,933,583,630
未 収 入 金	-	-	32,000,000	43,000,000	11,000,000	24,000,000
<b>(B) 負 債</b>	<b>22,134,660</b>	<b>23,571,285</b>	<b>21,917,688</b>	<b>23,384,178</b>	<b>22,722,610</b>	<b>27,079,158</b>
未払収益分配金	18,073,795	17,952,919	17,850,254	17,782,263	17,615,481	17,433,566
未 払 解 約 金	992,774	2,462,644	1,153,601	2,367,454	2,448,118	7,009,281
未 払 信 託 報 酬	3,058,045	3,145,388	2,904,289	3,223,872	2,650,304	2,627,679
その他未払費用	10,046	10,334	9,544	10,589	8,707	8,632
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,330,941,346</b>	<b>3,319,519,830</b>	<b>3,119,356,242</b>	<b>3,145,762,206</b>	<b>3,150,537,189</b>	<b>2,947,140,900</b>
元 本	9,036,897,552	8,976,459,772	8,925,127,391	8,891,131,761	8,807,740,677	8,716,783,443
次期繰越損益金	△5,705,956,206	△5,656,939,942	△5,805,771,149	△5,745,369,555	△5,657,203,488	△5,769,642,543
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>9,036,897,552口</b>	<b>8,976,459,772口</b>	<b>8,925,127,391口</b>	<b>8,891,131,761口</b>	<b>8,807,740,677口</b>	<b>8,716,783,443口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	3,686円	3,698円	3,495円	3,538円	3,577円	3,381円

(注) 第160期末における元本額は9,085,539,617円、当作成期間(第161期～第166期)中における追加設定元本額は25,604,749円、同解約元本額は394,360,923円です。

## ■損益の状況

〔自 2021年9月9日 至 2021年10月8日〕〔自 2021年10月9日 至 2021年11月8日〕〔自 2021年11月9日 至 2021年12月8日〕〔自 2021年12月9日 至 2022年1月11日〕〔自 2022年1月12日 至 2022年2月8日〕〔自 2022年2月9日 至 2022年3月8日〕

項 目	第 161 期	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期
(A) 配 当 等 収 益	△97円	△333円	△543円	△198円	△263円	△229円
受 取 利 息	-	-	-	-	1	-
支 払 利 息	△97	△333	△543	△198	△264	△229
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△73,892,355	31,955,528	△160,390,267	59,300,642	54,555,749	△150,784,403
売 買 益	287,753	32,292,170	525,866	59,408,203	54,672,729	403,792
売 買 損	△74,180,108	△336,642	△160,916,133	△107,561	△116,980	△151,188,195
(C) 信 託 報 酬 等	△3,068,091	△3,155,722	△2,913,833	△3,234,461	△2,659,011	△2,636,311
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△76,960,543	28,799,473	△163,304,643	56,065,983	51,896,475	△153,420,943
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,431,648,289	△2,508,873,894	△2,482,469,379	△2,652,347,988	△2,588,697,910	△2,527,044,808
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△3,179,273,579	△3,158,912,602	△3,142,146,873	△3,131,305,287	△3,102,786,572	△3,071,743,226
(配 当 等 相 当 額)	(29,354,744)	(29,354,369)	(29,456,560)	(29,565,403)	(29,459,607)	(29,355,325)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,208,628,323)	(△3,188,266,971)	(△3,171,603,433)	(△3,160,870,690)	(△3,132,246,179)	(△3,101,098,551)
(G) 合 計 (D + E + F)	△5,687,882,411	△5,638,987,023	△5,787,920,895	△5,727,587,292	△5,639,588,007	△5,752,208,977
(H) 収 益 分 配 金	△18,073,795	△17,952,919	△17,850,254	△17,782,263	△17,615,481	△17,433,566
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△5,705,956,206	△5,656,939,942	△5,805,771,149	△5,745,369,555	△5,657,203,488	△5,769,642,543
追 加 信 託 差 損 益 金	△3,179,273,579	△3,158,912,602	△3,142,146,873	△3,131,305,287	△3,102,786,572	△3,071,743,226
(配 当 等 相 当 額)	(29,361,940)	(29,359,208)	(29,459,457)	(29,570,347)	(29,463,297)	(29,359,876)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,208,635,519)	(△3,188,271,810)	(△3,171,606,330)	(△3,160,875,634)	(△3,132,249,869)	(△3,101,103,102)
分 配 準 備 積 立 金	524,280,264	520,356,681	513,923,242	512,649,720	505,201,807	503,481,861
繰 越 損 益 金	△3,050,962,891	△3,018,384,021	△3,177,547,518	△3,126,713,988	△3,059,618,723	△3,201,381,178

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 161 期	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,158,643円	17,724,602円	14,657,648円	18,684,401円	15,142,220円	21,127,162円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	29,361,940	29,359,208	29,459,457	29,570,347	29,463,297	29,359,876
(d) 分 配 準 備 積 立 金	526,195,416	520,584,998	517,115,848	511,747,582	507,675,068	499,788,265
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	571,715,999	567,668,808	561,232,953	560,002,330	552,280,585	550,275,303
(f) 1万口当たり当期分配対象額	632.65	632.40	628.82	629.84	627.04	631.28
(g) 分 配 金	18,073,795	17,952,919	17,850,254	17,782,263	17,615,481	17,433,566
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

## ■分配金のお知らせ

決算期	第 161 期	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# グローバル高金利通貨マザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2022年3月8日）

（計算期間 2021年3月9日～2022年3月8日）

グローバル高金利通貨マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の公社債。
主な組入制限	株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
		期騰	落中率			
10期（2018年3月8日）	円		%	%	%	百万円
	11,354		2.4	96.4	—	6,304
11期（2019年3月8日）	11,060	△2.6		96.0	—	5,157
12期（2020年3月9日）	10,381	△6.1		96.1	—	4,012
13期（2021年3月8日）	11,070	6.6		96.6	—	3,575
14期（2022年3月8日）	10,840	△2.1		97.6	—	2,933

（注1）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

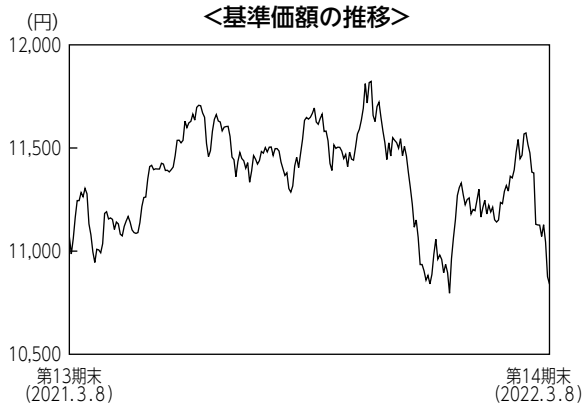
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰	落		
(期 首) 2021 年 3 月 8 日	円 11,070	% -		% 96.6	% -
3 月 末	11,036	△0.3		96.3	-
4 月 末	11,260	1.7		97.0	-
5 月 末	11,538	4.2		96.5	-
6 月 末	11,583	4.6		96.4	-
7 月 末	11,483	3.7		95.8	-
8 月 末	11,542	4.3		95.7	-
9 月 末	11,485	3.7		96.5	-
10 月 末	11,583	4.6		96.5	-
11 月 末	10,935	△1.2		95.9	-
12 月 末	11,225	1.4		95.4	-
2022 年 1 月 末	11,230	1.4		95.4	-
2 月 末	11,127	0.5		97.0	-
(期 末) 2022 年 3 月 8 日	10,840	△2.1		97.6	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2021年3月9日から2022年3月8日まで）



### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は10,840円（1万口当たり）となり、前期末比で2.1%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

多くの組入国において、高まるインフレへの対応のため、政策金利の引き上げが実施され、国債利回りが上昇（価格は下落）したことや、その中でもインフレ実勢を無視した利下げを断行したトルコの通貨リラの大幅減価、ウクライナへの軍事侵攻を強行し、西側諸国からの制裁を受けたロシアの通貨ルーブルの大幅減価などが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

債券市場では、多くの投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの回復局面において強まった供給制約の問題から世界的にインフレ上昇が見られた中、多くの組入国で政策金利の引き上げが実施されたこと、また、期末にかけてはロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けて市場心理が圧迫されるとともに、産油国ロシアを中心とした事態の中、原油をはじめとした各種資源価格の大幅上昇から、更なるインフレ進行懸念が強まったことなどが要因となりました。

為替市場では、まちまちの動きとなりました。ウクライナへの軍事侵攻を強行し、西側諸国からの制裁を受けたロシアルーブル、高インフレ環境下で実勢を無視した利下げを断行したトルコリラは大幅に下落しました。また、ロシアやウクライナへの地理的な近接性が嫌気されたポーランドズロチも下落に見舞われました。一方、世界的な資源高となる中、主力产品价格の大幅上昇が好感されたブラジルリアルは上昇しました。（いずれも対円）

## ポートフォリオについて

ポートフォリオについては、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等を睨みながら比率の調整を行いました。当期は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、欧州地域でロシアを投資国から除外し、地域内各国の金利水準等に鑑み、ノルウェーを新たに組み入れました。

## 今後の運用方針

新興国債券・為替市場は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク選好の冷え込み、それに伴う資源価格の大幅上昇のほか、米国における金融正常化が進む状況下、より選別的な動きが強まるものと考えます。各国の金融政策姿勢、ファンダメンタルズや政治情勢その他、個別に抱える課題は異なることなどから、国ごとのパフォーマンスが異なる展開を想定しており、これに留意した投資国の選別や配分を行う方針です。



## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2円 (2) (0)	0.014% (0.014) (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.014	
期中の平均基準価額は11,356円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況 (2021年3月9日から2022年3月8日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	トルコ	特殊債券	千トルコ・リラ 15,643	千トルコ・リラ 4,519 (8,500)
	ノルウェー	特殊債券	千ノルウェー・クローネ 25,932	千ノルウェー・クローネ — (—)
	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ 17,387	千メキシコ・ペソ 11,442 (16,000)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー 32,416	千インド・ルピー 60,127 (30,000)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア —	千インドネシア・ルピア 9,166,540 (—)
	ロシア	特殊債券	千ロシア・ルーブル —	千ロシア・ルーブル 286,973 (—)
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 6,195	千南アフリカ・ランド 9,422 (—)
	ポーランド	特殊債券	千ポーランド・ズロチ 939	千ポーランド・ズロチ 2,349 (—)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年3月9日から2022年3月8日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ト ル コ	千トルコ・リラ 37,600	千トルコ・リラ 31,762	千円 254,930	% 8.7	% -	% -	% -	% 8.7
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェー・クローネ 26,000	千ノルウェー・クローネ 25,917	千円 330,712	11.3	-	-	-	11.3
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 76,600	千メキシコ・ペソ 69,790	千円 378,264	12.9	-	-	6.5	6.4
イ ン ド	千インド・ルピー 235,570	千インド・ルピー 235,320	千円 355,334	12.1	-	-	3.4	8.7
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシア・ルピア 48,000,000	千インドネシア・ルピア 49,107,900	千円 392,863	13.4	-	-	-	13.4
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 18,600	千ブラジル・レアル 17,823	千円 403,698	13.8	-	-	-	13.8
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド 55,000	千南アフリカ・ランド 56,376	千円 423,385	14.4	-	-	5.9	8.5
ポ ー ラ ン ド	千ポーランド・ズロチ 13,600	千ポーランド・ズロチ 12,870	千円 323,872	11.0	-	-	5.0	6.1
合 計	-	-	千円 2,863,061	97.6	-	-	20.8	76.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示  
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				期 末		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
<b>(トルコ)</b>		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
EBRD 12.5 02/09/23	特 殊 債 券	12.5000	4,600	3,948	31,691	2023/02/09
IBRD 13.25 02/22/23	特 殊 債 券	13.2500	9,000	7,390	59,320	2023/02/22
EIB 09/05/22	特 殊 債 券	—	19,500	16,280	130,669	2022/09/05
EBRD 24.0 10/05/22	特 殊 債 券	24.0000	4,500	4,142	33,249	2022/10/05
小 計	—	—	37,600	31,762	254,930	—
<b>(ノルウェー)</b>		%	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	千円	
NIB 1.375 06/19/23	特 殊 債 券	1.3750	26,000	25,917	330,712	2023/06/19
小 計	—	—	26,000	25,917	330,712	—
<b>(メキシコ)</b>		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
EIB 5.5 01/23/23	特 殊 債 券	5.5000	14,100	13,748	74,519	2023/01/23
EIB 7.75 01/30/25	特 殊 債 券	7.7500	23,000	22,602	122,503	2025/01/30
IFC 7.25 02/02/24	特 殊 債 券	7.2500	19,500	18,994	102,952	2024/02/02
EBRD 5.95 10/27/22	特 殊 債 券	5.9500	2,000	1,968	10,670	2022/10/27
IFC 10/19/26	特 殊 債 券	0.0000	18,000	12,475	67,618	2026/10/19
小 計	—	—	76,600	69,790	378,264	—
<b>(インド)</b>		%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
EBRD 5.0 01/15/26	特 殊 債 券	5.0000	32,900	32,060	48,411	2026/01/15
EBRD 6.0 02/07/23	特 殊 債 券	6.0000	36,000	36,131	54,559	2023/02/07
IFC 6.3 11/25/24	特 殊 債 券	6.3000	34,000	34,292	51,781	2024/11/25
ASIAN DEV BANK 5.9 12/20/22	特 殊 債 券	5.9000	132,670	132,835	200,582	2022/12/20
小 計	—	—	235,570	235,320	355,334	—
<b>(インドネシア)</b>		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IADB 7.875 03/14/23	特 殊 債 券	7.8750	23,000,000	23,737,150	189,897	2023/03/14
EBRD 7.5 05/15/22	特 殊 債 券	7.5000	3,000,000	3,018,090	24,144	2022/05/15
EBRD 6.45 12/13/22	特 殊 債 券	6.4500	22,000,000	22,352,660	178,821	2022/12/13
小 計	—	—	48,000,000	49,107,900	392,863	—
<b>(ブラジル)</b>		%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
IFC 8.25 01/30/23	特 殊 債 券	8.2500	15,500	14,975	339,185	2023/01/30
IFC 7.0 02/14/24	特 殊 債 券	7.0000	3,100	2,848	64,513	2024/02/14
小 計	—	—	18,600	17,823	403,698	—
<b>(南アフリカ)</b>		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
EIB 7.25 02/28/23	特 殊 債 券	7.2500	6,000	6,086	45,710	2023/02/28
EIB 8.375 07/29/22	特 殊 債 券	8.3750	27,000	27,281	204,883	2022/07/29
EIB 8.5 09/17/24	特 殊 債 券	8.5000	22,000	23,008	172,792	2024/09/17
小 計	—	—	55,000	56,376	423,385	—
<b>(ポーランド)</b>		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
EIB 3.0 05/24/24	特 殊 債 券	3.0000	6,000	5,790	145,704	2024/05/24
EBRD 0.25 11/20/23	特 殊 債 券	0.2500	7,600	7,080	178,168	2023/11/20
小 計	—	—	13,600	12,870	323,872	—
合 計	—	—	—	—	2,863,061	—

## ■投資信託財産の構成

2022年3月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	2,863,061	96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	94,461	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,957,523	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2,944,027千円、99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年3月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=115.49円、1トルコ・リラ=8.026円、1ノルウェー・クローネ=12.76円、1メキシコ・ペソ=5.42円、1インド・ルピー=1.51円、100インドネシア・ルピア=0.80円、1ブラジル・レアル=22.649円、1南アフリカ・ランド=7.51円、1ポーランド・ズロチ=25.163円、1ユーロ=125.31円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年3月8日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,971,689,817円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	37,847,804
公 社 債(評価額)	2,863,061,687
未 収 入 金	14,326,294
未 収 利 息	53,066,378
前 払 費 用	3,387,654
(B) 負 債	38,166,512
未 払 金	14,166,512
未 払 解 約 金	24,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,933,523,305
元 本	2,706,257,962
次 期 繰 越 損 益 金	227,265,343
(D) 受 益 権 総 口 数	2,706,257,962口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,840円

(注1) 期首元本額 3,229,867,224円  
追加設定元本額 345,068円  
一部解約元本額 523,954,330円

(注2) 期末における元本の内訳  
高金利通貨ファンド 2,706,257,962円  
期末元本合計 2,706,257,962円

## ■損益の状況

当期 自2021年3月9日 至2022年3月8日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	221,844,369円
受 取 利 息	221,845,145
支 払 利 息	△776
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△268,090,561
売 買 益	157,134,842
売 買 損	△425,225,403
(C) そ の 他 費 用	△482,201
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△46,728,393
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	345,509,227
(F) 解 約 差 損 益 金	△71,560,423
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	44,932
(H) 合 計(D+E+F+G)	227,265,343
次 期 繰 越 損 益 金(H)	227,265,343

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。